

コラム 小笠氏が発見したから小笠原諸島か

小笠原諸島 東京都に属し都心から南方1000キロの太平洋上に点在する。聳島・父島・母島の三列島に属する30余の島からなる。

父島・母島を主島とする。

1593年(文禄2)小笠原貞頼により発見され、その姓をとり島名としたというのが史料的裏付けはない。

おがさわらさだより
小笠原貞頼(生没年不詳)

貞頼は小笠原長時の曾孫で織田信長・秀吉・家康に仕え小田原の戦いに従軍、朝鮮出兵には軍検使として渡韓した。家康の信頼を得て伊豆奉行になり、無人島開発を任せ南海に航海して1593年三島を発見したという。(「小笠原島新誌」)

しかし、このことは確かな史料には見えず真偽が疑わしい。

また、小笠原貞頼の名は「小笠原家譜」「寛政重修諸家譜」などには載っていない。

おがさわらさだより
小笠原貞任一件

1727年(享保12)、小笠原貞頼の曾孫と称する小笠原貞任が幕府に小笠原諸島への渡航を願い、一族の式部長晃を先発として出発させたが、小笠原宗家九州小倉藩小笠原家から小笠原貞頼・貞任は一族にあらずと異議が申し立てられ長晃は重追放となった。(一説には長晃は漂流して帰らなかったという。)

したがって「小笠原諸島の命名と小笠原氏との関係については、1593年(文禄2)小笠原貞頼により発見され、その姓をとり島名としたといわれていますが、確たる史料的裏付けはないそうです。」という答えが妥当と思われます。参考文献を問われたら「国史大辞典2」の「小笠原諸島」「小笠原貞頼」の項を参照されたいというのが良いと思います。



戸田家廟園ガイド

松本市県2丁目3番5号

●この廟園は1617年から1633年と1726年から1870年まで二度にわたり松本藩主であった戸田家の廟所です。(戸田家はこの他に岐阜市加納智勝院・東京染井墓地にも墓所があります。)場所は松本県ヶ丘高校の北側にあります。葬られているのは初代康長・6代光行・7代光年・8代光庸の弟光領夫妻です。



② 6代光行・③7代光年・④8代光庸の弟光領

① 丹波塚(初代 戸田康長)

⑤ 光領の室(妻)の墓

